

編集後記

本誌への寄稿をお願いする総説・解説等のテーマを編集委員会で検討する際に、乳や乳製品、関連微生物などの「もの」別の分類、また、栄養や健康、分析技術や加工・製造技術、酪農・乳生産などの「こと」別の分類をして、長く取り上げていない分野から何か良いテーマがあれば、というようなことも考慮しつつ候補課題を選んでおります。第68巻では、検査分析技術に関する総説を2題掲載しておりますが、一つは理化学分野で近年の進歩が目覚ましい質量分析を用いた成分等の分析について、もう一つは、ここしばらく間が空いておりました生物学的分析技術のテーマで食品中の生菌数の高精度計測に関するものです。他の2題は製造技術に関するテーマですが、やはり理化学的な技術と微生物の代謝機能を利用した技術について解説いただいております。このように編集委員会では、時間軸と専門分野の両面から検討し最新情報にも配慮しつつテーマ、話題を選んでおりますが、より多くの読者の皆様に興味をもって読んでいただけますように、皆様からのご提案も歓迎いたします。協会事務局あるいは編集委員にご一報いただけましたら有り難く思います。

ICT (Information communication technology) やIoT (Internet of things) が急速に進歩し社会に広く浸透しつつあるように感じています。乳業関連分野においてもIoTが導入され始めており、例えば酪農・乳生産の分野では、多数の乳牛からの膨大なデータをクラウド技術で管理しタブレットやスマートフォンなどの手軽な端末で日常業務ができるようになってきているようです。さらに小型カメラやセンサー (ウェアラブル端末) を乳牛に装着して個体ごとの動きや位置情報、体温や皮膚の状態などの身体情報をリアルタイムでモニターして個体ごとのデータを集積し、機械学習や深層学習など、いわゆる人工知能技術 AI を活用して個体ごとの健康状態を把握して適切に管理することができるようになってきました。このような分野に関する総説・解説につきましても順次取り上げていけたらと思っております。

最後になりましたが、第68巻の発刊にあたり、ご執筆をご快諾いただき、年末、年度末のご多忙な時期にもかかわらず期限内に脱稿いただきました筆者の皆様に、厚くお礼申し上げます。

ISSN 1341-7878

BULLETIN OF JAPAN DAIRY
TECHNICAL ASSOCIATION

乳業技術 Vol. 68 2018

令和元年 5月28日発行

編集兼発行者：公益財団法人日本乳業技術協会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1丁目14番19号

TEL 03-3264-1921 FAX 03-3264-1569

E-mail : info@jdta.or.jp http : //www.jdta.or.jp

印刷者：小宮山印刷工業株式会社